



隼新八郎（南町奉行所内与力）— 郁江（妻 <sup>いくえ</sup> 神谷伊十郎 <sup>いじゅうろう</sup>の娘）、おとり（女中）

神谷伊十郎（新御番組頭 郁江の父）— 左尾（妻 <sup>さお</sup> 能勢市兵衛頼能 <sup>のせ せいのし</sup>の妹）

鹿之助（息子 同心見習い）— 雪江（妻）

根岸肥前守鎮衛（南町奉行 根岸家養子 <sup>やすもり</sup> 安生家 <sup>あのう</sup>の三男）、貞春院（叔母）

お鯉（隼家の元女中→肥前守の女中）、仙之助（兄 淀橋）

高木良右衛門（用人、お千加（娘）— 刀剣商又右衛門（夫 石町）

宮下寛右衛門（用人）

安生太左衛門定洪（肥前守の父）、直元（長男）

大竹金吾（用部屋手付同心）、熊五郎（岡っ引）

大久保源太（定町廻り同心）、進介（若党）

勘兵衛（湯島の元岡っ引）、熊吉（下ッ引）、仙太（下ッ引）

初（勘兵衛の娘）

吉太郎（勘兵衛の息子 湯島の一膳飯屋）— お芳（女房）

お久美（娘）、勘太郎（息子）

藤助（駒込の岡っ引）、お里（藤助の妹 三河屋の内儀）、丑松（子分）

松之助（佐賀町の岡っ引）

角兵衛（若松町の岡っ引）

伊十助（築地の岡っ引）

利五郎（新宿の岡っ引）

三浦志摩守（美作真島郡勝山藩主）

大須賀金右衛門（用人）

谷口惣太夫（里江（亡き妻）、惣一郎（息子）、おさよ（最初の妻）

忠助（奉公人）、吉之助（忠助の息子）

水嶋清三郎（谷口の若党）

青木甲斐守（摂州豊島郡麻田藩主）、源五郎（長男）、新一朗（次男）

青木千之丞（甲斐守の弟）、冬之助（養子 甲斐守の妾腹の子）

稲垣若狭守定淳

稲垣藤五郎定成（妾腹の子）、岡島宇兵衛（お守り役）、お多代（岡島の娘）

じゅうべえ 十兵衛（川越の隠居）、さきち 左吉（下男）

かずさや 上総屋進之助（囲碁将棋会所 十兵衛の義弟）、さんきち 三吉（小僧）

権八（道具屋）

びんごのかみひさやす かずさ いちはらごおり かい 有馬備後守久保（上総国市原郡五井藩主）

鈴木庄兵衛（重役）、よろずや 万谷又蔵（用人）、亀井才助

かすけ 加助（門番）

しゅんかい 春海（光林寺役僧）、加吉（寺男）

りょう お涼（琴の師匠）、しまだまたいちろう 嶋田又一郎（弟 本村町名主）

じんべえ 板倉屋仁兵衛（蔵前の札差）

大口屋新左衛門（蔵前の札差 板倉屋女房の実家）

やそ のすけ 石川八十之助（旗本）— お道（板倉屋の娘）、

とみ 戸美（母 鈴木九太夫の娘）、根本九朗兵衛（用人）

りょうつや 両津屋吉十郎（布団屋）、伊之助（番頭）

越後屋藤兵衛（綿問屋）— お松（女房）、うしのすけ 丑之助（息子）

かへえ 嘉兵衛（番頭）、正吉（手代）、五三郎（手代）、五助（寮番）

じょうちょうさい 今川常朝齋（奥坊主）

げんない 中島玄内（佐渡銀山の上役人）、げんのじょう 玄之丞（甥）

きじゅうろう 岡本喜十郎（佐渡の役人）— お栄（妻）、春之助（息子）、お千代（養女）

かしわざき 柏崎惣右衛門（佐渡の名主）

とき（ひさご屋女中）— 中村歌三郎（市村座役者）、おこま（娘）

きちのすけ 吉之助（市村座下座役者）

さきち 佐吉（わ組鳶頭）

ごすけ 伍助（遊女屋分花菱の寮の寮番）、はなごろも 花衣（女郎）、おまさ（女中）

ふしみや 伏見屋清兵衛（塗物問屋）— おたか（後妻）

清之助（清兵衛の息子）、おこと（おたかの娘）

住吉屋六右衛門（煙管屋）、きせるや 勝太郎（息子）

しょうけい 祥慶（寛永寺の役僧）

りょうじゅん 了順（盗賊の頭）、やはち 弥八、猫松